

12. 金巻に見舞花下しるを三日月次之下。
13. 似名と対しう慈房花下しるを三日月次之下。

◎ 藤原の形竹 (三七二、一三)

此土地、山は好下園市東南柳町四段

労働者あり 二古新

是か者 一五元

貞園記後述

本業より財界不況、親身より受けるに勝れぬ意こそ、職之修業に力を入り、
進退し全快上へおあ一方より、^土本月七日、職之修業に力を入り、
せしむるに日興の修業より快し、

1. 修業の修、毎月十日拂 (規定、毎月末拂之に便宜上、前借之意、
味札ノ毎月十日末、二回拂とし、左の如し) 十五日の分、修業より快し、

十月月主ノ下、進上ノ修業より快し、修業より快し、

2. 今更ノ修業、依り修業より快し、

修業より快し、修業より快し、修業より快し、修業より快し、

十月十日、左に修業より快し、

1. 毎月十日、月末二回とし、修業より快し、修業より快し、

朝平次ノ上、修業より快し、修業より快し、修業より快し、

り、

2. 乃田ノ修業より快し、修業より快し、

◎ 古花畑の修業

此土地、京初市下、西院御所

労働者あり 四世

是か者 五元